

Military Social Workにおける「文化」への視点に関する一考察

○鹿児島国際大学 田中顕悟 (03490)

〔キーワード〕 Military Social Work、Deployemnt Cycle、Emotional of Deployemnt Cycle

1. 研究目的

本研究の全体像は、ソーシャルワークの原理・原則に基づき、アメリカにおける Military Social Work (以下、MilSW) の概要・専門職養成体系を分析し、将来的に、我が国におけるそれらの活用の可能性について試論を提起するものであるが、本報告では特に、MilSW における「文化」(以下、Military Culture) に着目し、MilSW の展開および専門職養成における Military Culture の理解と習得の必要性について論考を行うことを目的とする。

2. 研究の視点および方法

MilSW における Military Culture の関係を明らかにするためにまず、アメリカの MilSW の概要ならびに MilSW に関わる専門職 (Military Social Worker. 以下、MilSWer) 養成および Military Culture に関わる文献 (原著論文等) の整理を行った。また、アメリカでは様々な機関 (アメリカ各軍およびそこに所属する兵士・家族そして退役者の支援に関わる団体や機関等) が MilSW の対象となる人々への情報発信を Web 上で行っており、そこで公開されている資料・情報についても整理を進めると共に、MilSWer の養成課程が設置されているアメリカの大学院での聴講ならびに複数の MilSW に関連するプログラム等に参加し (2011-2012 年当時)、そこで得られた資料ならびに情報を総合的に分析した。

3. 倫理的配慮

本研究は文献および資料にもとづく研究であるため、先行して行われた自他の研究を引用・参照した場合には、引用・参照した文献の存在・出典を明示するとともに、先行研究が示す知見と自らが明らかにした知見を区別し論究を行った。

4. 研究結果

MilSW と Military Culture に関する先行研究は多く確認され (Hassan:2012 等)、さらにアメリカの MilSWer の養成に関わる大学院では、Military Culture に関する講義科目が設定され、また様々な団体・研究機関 (New York Times・NASW・The Center for Deployment Psychology 等) においては Military Culture の理解及び知識を深めるためのプログラムが Web 上で展開されていた。また、Tanielian, T ら (2014) は、SWer が Military や Veterans の文化に配慮している程度を理解するために、Military Culture に関する知識・認識およびそれに対する態度を評価する調査を行い、SWer に求められる知識・態度・行動と Military Culture の関係について概念化したものを整理している。以上のことから、アメリカにおける MilSW においては、その実践ならびに専門職養成において Military

Culture の理解とその活用は大きな意味を持つものと考えられ、そこに MilSW の独自性・固有性も認められると言えよう。

5. 考察

Hassan(2012:280) は「Military Culture は伝統的に弱さを良しとせず、心理的なことや結婚生活その他の個人的な問題について相談を求めるのは恥だとする可能性がある。(中略)飲酒運転、家庭内暴力、児童虐待、上司命令違反といった業績やキャリアを揺るがせる行動上の問題は、SW の介入を受ける余地がある」としている。また、Wooten(2015: S8)は「軍人および退役軍人を担当する SWer は、軍隊の組織的・文化的な差異と、それが支援に与える影響について意識する必要がある」とし、また CSWE(2010: 5)は、MilSWer が「軍や退役軍人の文化 (Culture) についてのバイアス、通念、固定観念を検討・特定し解決する必要」があり、MilSWer は「軍が社会の縮図であることを認識しなければならない」と指摘している。これらの指摘は MilSW においてだけでなく、全てのソーシャルワーク領域において利用者を取り巻く環境への理解が必須であることと同様であり、特に Military においては、その固有の環境とそこでの活動 (任務・業務・訓練等) が Military に関係する人々の生活に大きな影響を与えていることから、その影響を構成する要因の一つである Military Culture の理解と知識の習得が重要な意義を持つと言えよう。Military Culture については、Military での経験が無い者はその理解が困難ということではなく、適切なトレーニング及び継続した学習を進めることで、その理解と支援過程における活用は可能であると考えられ、また他のソーシャルワーク領域と同様に SWer としての専門知識を保有した上で、適切な支援関係を構築し、さらに Military Culture の視点・知識を支援過程において活用することにより、効果的な支援を展開することが可能であると考えられる。なお、このような視点は、我が国では国防・災害支援活動等のハリスナ活動に従事する自衛隊員とその家族への支援についても活用が可能とも考えられよう。今後は MilSW の実践事例とそこでの Military Culture の知識・視点の活用の実際について研究を継続する予定である。

参考文献

- CSWE(2010) *Advanced Social Work Practice in Military Social Work* (<http://www.cswe.org/File.aspx?id=42466>, 2010.12.1) .
- Hassan .A(2012) . *Social Work Practice With Military Family*, In Dulmus,C & Sowers,S(e d) *Social Work Fields of Practice —Historical Trends ,Professional Issues , a nd Future Opportunities* ;NewYork: John Wiley & Sons. 279-280.
- Tanielian, T.,Farris, C.,Eply, C. (et al.) (2014). *Ready to Serve:Community-Based Provider Capacity to Deliver Culturally Competent, Quality Mental Health Care to Veterans and Their Families* .RAND.
- Wooten, N.R(2015). *Military Social Work: Opportunities and Challenges for Social Work Education:Journal of Social Work Education Volume 51(Suppl 1): S6-S25.*